

そよかぜだより

章子首由工之經，則經可。」

新区分判定ほ知的障害が不利に

日本知的障害者福祉協会・見直しを求めて緊急集会

障害者自立支援法が一部施行されてから二ヵ月がたち、利用者や事業者の間で問題点が集約されつつあります。とくに問題視されているのは新法に基づく障害者程度区分が知的障害者に不利となる部分です。

自立支援法では、障害程度動ける人は障害が軽いと判定

そよかぜ十八年度通常総会
六月十一日、福祉センター
でそよかぜの通常総会が開かれました。並木市長、染谷市

今年度の役員体制	
よろしくお願ひします	
理事長	野崎 功市
副理事長	宇津木牧夫
理事	正彦
同	賢
同	昭雄
同	信玉
同	京子
同	尚善
新任理事	照英
同	常作
同	一
同	常夫
監事	

退任された方
ごくろうさまでした
長井 澄子様
藤田 忠男様

は六月六日、日比谷公園で直しを求める緊急集会を開きました。この集会には元厚生大臣ほか自民党を中心に約四〇名の国会議員が訪れ、「白立支援法ができてよかつたと言つてもらはずだつたが、直すべきところは直したい」

り立たないと頭をかかえてい
ます。程度区分の高低によつ
て報酬ランクが変わるため、
現行の職員配置数やサービス
の質を維持するのは不可能と
訴えています。

都内で最重度の知的障害者が入所している施設が、このソフトで試算したところ全入所者の十三%が入所不適当となりました。また現在施設に支給されている報酬も現行より二十七%も減額になるそうです。これでは施設経営は成

二
九

との発言が相次ぎました

第49号
発行2006.6.18
毎月1回発行
NPO法人
障害者団体連絡会
そよかぜ

<http://www.mmjp.or.jp>
/soyokaze/
連絡先
ひばり園 578-0855
FAX 578-0466
くれよん 578-2575
くしの家 578-0855
あおぞら 570-6110
(お問い合わせ)
資源回収時のご連絡は
「アトギリ園」へ

NPO法人 そよかぜ の 《資源回収》に

新聞、雑誌、ダンボール

(ボロは扱っていません)

この収益は「つくしの家」の運営資金などになります。
5月は 27.530t でした。金額は 338,008 円となりました。
皆様のご協力有難うございまーす。

7月は第3日曜日16日です。

大雨等の場合は、次週の日曜日に順延します。

ご連絡は、ひばり園へ
羽村市五ノ神2-6-7
042-578-0855

くれよん5月の売上
￥ 922,090円でした。

羽村市内の小学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でブルトップ収集にご協力して下さっています。ありがとうございます。

回収作業あれこれ物語

園内きつての人気職種に

きつい仕事だと敬遠されていたのですが

今回は、ひばり園で行なっている資源回収について、作業の実情がわかる話を紹介して、今後もお気軽にご協力いただけるようにお願いしたいと思います。

は、前に建設現場で働いていて肉体労働ならひばり園ではだれにも負けないと、本人もまわりも認めていた一人の里生がほぼ専属のように担当していました。「回収はきつい

初めての回収から帰ったとき意外に明るい表情だったのを少し安心しました。前のベテランの男性にくらべると仕事はたしかに下手ですが、や

なく無口なタイプでしたが、回収に行くようになつてから目にみえて明るくなつてきました。それを見た他の男性利用者が「あの人にできるなら自分もできそうだ」と思つた

まず第一に、やつてみた
それほどでもなかつた。た
かに体を使つて少しは疲れ
けれどたいしたことはない
わかつたのでしよう。体を

ら
し
る
と
動
い
ま
す。園
内
の
ペ
ア
リ
ン
グ
や
袋
詰
め
の
仕
事
は、
手
先
だ
け
で
同
じ
作
業
の
連
続
で
す。
ま
で
も
外
に
出
て
外
の
空
気
を
吸
い、
い
ろ
ん
な
所
へ
行
き、
い
ろ
ん
な
人
に
会
つ
て、
少
し
疲
れ

れいをたたノ

部分に障害をもつてゐる人た
ちです。「こんなきつい仕事
をさせられるなら、もうひば
り園には行きたくない」など
と言ひだすかも知れないと、

婆ちゃんだから、その人は笑
いながら好きなようにさせて
います。帰りには募金にチコ
コレートをつけてくれたりし
ます。

かつて「きつい肉体労働」と思われて敬遠されていた収作業が、いまや園内きつの人気職種になりました。

、なて回り
わして落ち着きがなくなることがあります。単純仕事のくり返しは時間がたつのが遅いのだと思います。
しかし、なんといっても

一 た ま し

これにくらべて資源回収は車に乗つて家庭や企業をまわり、提供される古新聞、ダンボール、雑誌などを車に積んでも收集会社に運び降ろしていく仕事です。ペアリングのように細かい神経は使いませんが、肉体労働ですから体が丈夫な男の仕事です。そのため車を運転する職員は別にして助手席に乗つて回収に出る人を見える人でも、知的か精神のことのない人にも回収をしてもらうことになりました。比較的体が丈夫そうな男性を指名して初めて車に乗つてもらいうことになりました。

月に一回、新聞や雑誌をも
らいに行く家で九十歳台のお
爺ちゃんとお婆ちゃんが二人
暮らしをしている所があります。
そこのお婆ちゃんがどう
いうわけかその人をたいへん
気に入つて、こちらが行くと
「あーあの子、あの子、ちょ
つとおいで」といつて頭をな
でます。あの子といつても三
十台の大人ですが、相手がお

に二人しか乗れません。いまでは多くの希望者の中から、「今日はだれをえらぶか」が回収担当職員の一つの悩みになつてきました。「今度の回収は、おれが行く」と事前に予約を申し込む人もいるし、回収担当の職員と仲良くなれば有利との思いなのか、その職員に缶コーヒーをくれる人までいる始末です。

一廻りすると二時間や三時
はすぐたちます。朝出て帰
てくるとお昼になつていて
当、ということはよくあり
す。園内でペアリング作業
していると作業台の前で同
仕事をずーと続けます。時
をちらちら見ながら休憩時
間まであと何分と思いながら
けます。慣れてない実習生
どは、一時間もするとそわこ

一方で障害によつて回収作業
ができない人の気持ちも十分
配慮しなくてはなりません。
さらに私たちの回収には支
援所から一キロ十円の補助金
があるので、それがない他の
仕事より収入面でも有利な仕
事です。今後もできるかぎり
この事業は拡大したいと思ひ
ますので、ご協力をよろしく
お願いします。

、 ハ イ ナ 仕 の 金 市 分 類